

# 早期景気観測調査 新潟商工会議所管内5月分

新潟市早期景気観測調査5月分(当所管内)

(調査期間:5/1~5/14 回答数112/290)

新潟商工会議所会員サービス課

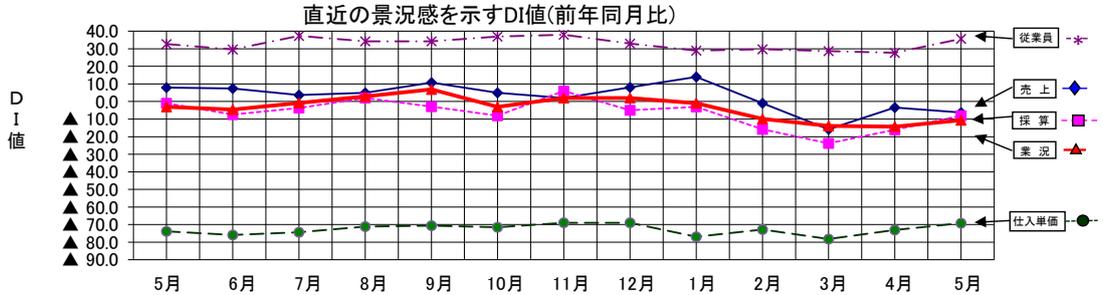
## 【5月の概要】

### 物価高による消費停滞と人手不足が続くも、採算と業況に改善の動きが見られる

直近の景況感を示すDI値は、「売上DI」が前月の▲3.4から▲6.3へ2.9ポイント悪化した。一方、「採算DI」は前月の▲16.0から▲8.0へ8.0ポイント改善し、直近ではマイナス幅が大きく縮小している。「業況DI」および「仕入単価DI」も、それぞれ3.6ポイント、3.9ポイントの改善となった。「従業員DI」は8.0ポイント悪化し、人手不足感が再び強まっている。

先行き見通しを示すDI値では、「採算DI」と「仕入単価DI」がそれぞれ4.9ポイント改善した一方、「売上DI」は4.6ポイント、「業況DI」は1.0ポイント悪化した。「従業員DI」も4.4ポイント悪化しており、先行きにおいても慢性的な人手不足が続く見通しである。

コメントでは、大型連休が取りづらい日並びや気温の低さによる消費行動の鈍化、価格転嫁の難しさ、人手不足の深刻化など、先行きへの不安感を示す意見が多く寄せられた。



【直近の景況感を示すDI】 ※DI(景況判断指数: Diffusion Index の略)=(良い割合)-(悪い割合)  
※従業員=(不足)-(過剰)

	2024年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	2025年 5月
◆ 売上	7.9	7.4	3.7	4.9	10.8	5.0	2.0	8.0	14.0	▲ 1.0	▲ 15.8	▲ 3.4	▲ 6.3
■ 採算	▲ 1.0	▲ 7.4	▲ 3.7	2.0	▲ 2.9	▲ 8.0	6.0	▲ 5.0	▲ 3.0	▲ 15.8	▲ 23.8	▲ 16.0	▲ 8.0
▲ 業況	▲ 3.0	▲ 4.6	▲ 0.9	2.9	6.9	▲ 3.0	2.0	2.0	▲ 1.0	▲ 9.9	▲ 13.9	▲ 14.3	▲ 10.7
● 仕入単価	▲ 73.8	▲ 75.9	▲ 74.3	▲ 71.1	▲ 70.6	▲ 71.5	▲ 69.0	▲ 69.0	▲ 77.0	▲ 72.8	▲ 78.2	▲ 73.1	▲ 69.2
※ 従業員	32.7	29.6	37.4	34.3	34.3	37.0	38.0	33.0	29.0	29.7	28.7	27.7	35.7

- ・前月比でプラス幅が増加(悪化)したDI値: 従業員+8.0ポイント(人手不足感が強まった)
- ・前月比でマイナス幅が減少(改善)したDI値: 採算+8.0ポイント、業況+3.6ポイント、仕入単価+3.9ポイント
- ・前月比でマイナス幅が増加(悪化)したDI値: 売上▲2.9ポイント

### 【向こう3か月間の先行き見通しを示すDI】

	売上(受注・出荷)	採算	業況	仕入単価	従業員
3月回答	▲ 11.9	▲ 22.8	▲ 17.8	▲ 54.5	27.7
4月回答	▲ 3.4	▲ 21.0	▲ 15.1	▲ 50.4	26.9
5月回答	▲ 8.0	▲ 16.1	▲ 16.1	▲ 45.5	31.3

- ・前月比で見通しが改善したDI値: 採算+4.9ポイント、仕入単価+4.9ポイント
- ・前月比で見通しが悪化したDI値: 売上▲4.6ポイント、業況▲1.0ポイント、従業員+4.4ポイント(人手不足感が強まった)

### 【業界から寄せられた主なコメント】

建設業	土木・建築	元方事業者・協会社・専門工事業者いずれも慢性的な人手不足に直面しており、協会社の手配がつかず、受注機会を逃すケースは全事業者が共通している。
	土木・建築	飛び石連休で長期休暇は取りにくい日程だったが、以前より計画的に休暇を取る意識が高まっている。一方、建設業への入職者確保には依然として苦戦しており、多様な取組を行っている。
製造業	醤油	原料価格や燃料費の変動、景気の先行きなど、不確定要素が多く、見通しが立てにくい状況が続いている。
卸売業	水産物	原材料の高騰が再び始まっており、十分に価格転嫁できるかが懸念される。
	コ－ヒ－	昨年の連休と比較すると、飛び石と同時に加えて気温も低かったためか、全体に消費行動が鈍かったように思われる。その分売り上げに影響している可能性がある。
小売業	印鑑・印刷	本来は従業員をもう一名採用したいが、賃上げやアメリカの関税引き上げによる業況悪化が懸念されるため採用を先送りしている。
	ホ－ムセ－ンター	昨年と比べて円高傾向にあり、計画段階よりも仕入額を抑えられている。今後の為替変動に引き続き注視していく。
サービス業	飲食	食品などの春の値上げや米価の高騰を含む物価上昇の影響で、昨年より家計の消費が停滞しているように見受けられる。
	ソフトウェア開発	2026年卒の採用活動を行っているが、応募が伸びず採用予定数に達していないのが現状。採用状況は年々悪化しており、このままでは深刻な人手不足に陥る恐れがある。
	ホテル	連休の日並びが悪く、前年ほどの伸びは見込めない。また、万博開催地域への人の流れが集中している影響も感じられる。全体的に止まらない物価高の影響で客数・消費単価ともに落ち込んでいる。

※本コメントは、調査結果の一部を編集・要約したものです。内容の趣旨を損なわない範囲で表現の調整を行っています。

早期景気観測調査 新潟商工会議所管内 5月分 各業界からのコメント

建設業
<p>現在世界市場の行方が見通しできない状況で一部上場企業でも売上を下方修正するというニュースを耳にします。我々のような零細企業にも遅れて悪条件がじわじわとおそいかかってくる事は、間違いありません。対応策は顧客に対する信頼度を高め技術力をアップさせ同業他社との差別化図り限られた顧客数を守り、また増やしていく。そのような戦略しかないのかと考えております。</p>
<p>元方事業者、協会社・専門工事業者とも、慢性的な人手不足となっている。協会社の手配がつかず、受注機会を逸失している状況は、全事業者に共通した事象となる。</p> <p>昨年11月以降、手形（でんさい）のサイト短縮の影響と金利上昇は、金融負担増加を招き、営業外費用増加も懸念事項となる。発注者側におかれましても、請負代金の支払条件を改善いただいている事業者さまもいれば、従前変わらずの事業者さまもおり、願わくば、全事業者さまで支払条件を改善頂きますと元方事業者のダメージは少なくなると思う。</p> <p>飛び石GWであり、長期休暇は取りにくいカレンダーであったが、以前に比べて計画的に休暇を取る意識が高まっている。引き続き、建設業への入職者の確保には苦戦しており、様々な努力を重ねている。</p>
製造業
<p>今年に入り40歳新人が入りました。未経験だが細かいところにも意識がありものづくり向きで良い人が来てくれました。40歳、50歳もまだこれからは先が長いので本人次第ですが育てていきたいです。</p> <p>原料、燃料、景況感、全てで不確定要素が多く、予測が難しい状況。</p>
卸売業
<p>また原材料が高騰し始めてきた。価格転嫁が十分に行えるか心配。</p> <p>昨年と比べると、飛石と同時に気温も低かったせいか全体に消費行動が鈍ったように思える。その分売り上げに影響している可能性がある。</p>
小売業
<p>新製品開発のスピードが鈍化しているため話題性の高い商品が少ない。今まではリニューアルで適正価格を維持してきたが、モデルチェンジが少なくなった為昨今の人件費や材料費・輸送費を価格に転嫁する動きが増えている。また、海外での事業に行き詰まりが顕著で日本市場の流通再編をはじめている。方向性を見失っている感がある。</p> <p>駅オープンの反動および特選ブティックの移設OPENと件あり。</p> <p>本当は、従業員をもう一名採用したいのですが、賃上げとアメリカの関税引き上げで業況が悪くなると困るので、先送りしている状況です。</p> <p>4月から新卒のスタッフが入り、生産力も上がり売り上げも好転。</p> <p>6月から乳価改定による値上げが予定されているので、全商品の20%を値上げ予定。今後気温の上昇により例年通り客数が減少すると予測。新卒スタッフの育成をポイントに9月以降の生産力を上げられるように取り組む。</p> <p>昨年と比較して円高である。計画段階の仕入額よりも抑えることができる。今後の為替変動にも注意していく。</p>
サービス業
<p>2026年卒の採用活動中であるが、思うように応募者が集まらずに採用予定人員まで達していないのが現状である。年々採用状況が悪化しており、この状況が続くと深刻な人で不足に陥り、事業の縮小を余儀なくされることが懸念される。</p> <p>物価高騰にともなう値上げ折衝が功を奏し売上は前年同月比プラスに転じている。今後の人件費アップ等の情勢に鑑み引き続き値上げ交渉を推進していく。</p> <p>食品などの春の価格値上げ、米価の高騰、様々な物価上昇で昨年より家計の消費が停滞しているように見える。昨年に比べ客単価の停滞が見られる。仕入れ単価の値上げも引き続き影響している。例年よりも賃上げ額を増やしている。この10月に最低時給も上昇する。原材料、人件費、営業コスト、国への奉仕と収益を圧迫する要因しかない。今ある選択肢は値上げしかないのが現状。</p> <p>社員数の充足が足踏み状態で増員が乏しい。昨年末からの人流の悪さに回復感が見えない。米国政策による不透明感が影響を齎しているのではないかと？</p> <p>ドライバー不足と配送料金値上げにより外注費が増加しているが、運賃値上げがなかなか進まないため、収益を圧迫されている。</p> <p>ゴールデンウィークの日・曜日の並びが前年より良くない為前年対比で期待ができない、また少なからず万博の影響があるのではないかと感じる。全体的には止まらない物価高の影響か、客数・消費単価が落ち込んでいる。</p> <p>現在、タクシー関連事業所への土地・建物の賃貸が主な事業となっており、景気の影響は少ない。</p>